



学校だより No.2

# 響き合う

令和2年4月17日  
大村市立放虎原小学校  
文責 香田 公裕

## 今、学校では！(新型コロナウイルス感染拡大防止対策)

今、学校では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のために、以下のような取組を行っています。

### 朝

子どもたちは、7:15~7:45の間に登校します。今年度は、全校一斉のランニングタイムを取りやめ、7:50には、教室に向かい読書の用意をします。教室に入る前に、液体石けんで入念に「手洗い」をし、「うがい」もします。もちろん窓を開け「換気」をよくします。

8:00から朝の会を行い、「健康観察」と「検温・マスク等のチェック」・「手の消毒」を行います。そして、検温漏れがあれば「検温」をします。検温後は、体温計を「一回一回消毒」します。学校に来ていない子がいれば、「家庭へ連絡」し確認します。子どもたちはこの間に読書をしています。担任は、このことを、8:15までにしなければなりません。

ですから、「毎日の検温・健康観察」「マスクの着用」「欠席遅刻等の連絡」は、忘れずに行って頂きたいのです。

### 授業等

できるだけ「席を離し」、「対面しないよう」に工夫して授業を行います。いわゆる「3密」をできるだけ作らないようにします。もちろん「換気」を十分に行います(基本、窓は開けっ放しです)給食前や掃除後は、液体石けんで丁寧に「手洗い」をします。

### 放課後

子どもたちが帰った後、それぞれが使用した教室や特別教室の机やドアノブ、窓の鍵等を、専用の消毒液で「一つ一つ消毒」します。これらのことを、本校の職員は毎日粛々と行い指導しているのです。それは、“子どもたちと一緒に学校生活を続けたい”その一心なのです。

## 今、学校では！(Part 2)

マスクの着用が、学校再開の必須条件です。市販の物が無い中、保護者の皆様には、大変なご苦労をおかけしています。そのような中でも、手作りマスク等を着用させて頂いていますことに、心より感謝申し上げます。

マスクがないのは、職員も同じで、手作りマスクを着用している姿をよく見かけます。そのような中、数名の職員が、キッチンペーパーやガーゼ等で、マスクを手作りし、手持ちが無くなった職員間でシェアできるように、職員室に置いてくれました。私たち職員は、子どもたち以上にマスクの着用は必須の条件なのです。その作り方を参考にして、PTA事務補助の菅田さんが、さらにストック分を作ってくれました。私も、その作り方をまねて子ども用のマスクを作ってみました。持ってくるのを忘れた子どもたちにつけさせています。

物が無いのは、誰でも同じです。また、手作りマスクを作る時間的な余裕もないご家庭もあると拝察します。大丈夫です!!そのまま、登校させて下さい。子どもたちが学校に来ることが、私たち職員の一歩の願いですから。



## 「親」の役割！(登校風景より)

1年生が入学して、1週間が経ちました。多くの保護者が、我が子の手を引いて、学校まで連れてこられる姿を見かけます。そして、ある一定の場所まで来ると、「行ってらっしゃい！」と言葉をかけ、送り出しているのです。その場所が、徐々に学校から遠くなり……。その姿を見て、感心すると共に、「親」という字を思い浮かべました。「木」の上に「立」って「見」と書きます。親の役割は、子どもの言うことや不安を十分理解しても、「それは違う！」と正しい方向に導いたり「大丈夫だよ！」と励まし勇気づけたりすることが大切であると思います。学校まで来られないが、それぞれの家庭の中で、同じように励まし送り出されていることがよく分かります。

